

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-3-1	2-3-2	事業名	障がい者のための施設の整備
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 小原 (211 - 2936)			
全体計画（当初）				
事業内容	【知的障がい者】 札幌市障害者保健福祉計画の重点課題である地域生活への移行を推進するため、通所施設の受け入れ枠を拡大し、定員増や必要に応じた施設整備を行なう。		<年度別の事業内容>	
	【身体障がい者】 札幌市障害者保健福祉計画で示すとおり、障がい特性に応じた福祉サービスを提供する必要がある。常時支援が必要な障がい者が入所する「身体障害者療護施設」の施設整備を行なう。		【知的障がい者】 16年度 30名分(授産施設30名×1ヵ所) 17年度 40名分(授産施設20名×1ヵ所、更生施設20名×1ヵ所) 18年度 30名分(授産施設30名×1ヵ所)  【身体障がい者】 16年度 30名分(療護施設30名×1ヵ所<継続分>) 18年度 20名分(療護施設20名×1ヵ所<着工分>)	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	【知的障がい者】 地域生活への移行を推進するため、施設整備費の補助を行った。(H16-17継続) 施設種別 授産施設 定員 30名 補助団体 社会福祉法人 ともに福祉会 整備区 西区  【身体障がい者】 障がい特性に応じた福祉サービスを提供するため、施設整備費の補助を行った。 (H15-16継続) 施設種別 療護(通所授産20名併設) 定員 30名 補助団体 社会福祉法人 札幌会 整備区 白石区		【知的障がい者】 地域生活への移行を推進するため、施設整備費の補助等を行った。 (17年度単独) 施設種別 授産施設 区分 増築 定員 11名増(19名 30名) 補助団体 社会福祉法人 さくら協働福祉会 整備区 手稲区 (16-17年度継続) 施設種別 授産施設 定員 30名 補助団体 社会福祉法人 ともに福祉会 整備区 西区 (17年度単独) 施設種別 更生施設 区分 創設 定員 20名 補助団体 社会福祉法人 朔風 整備区 手稲区	
事業内容 (量・場所・規模等)	【知的障がい者】 地域生活への移行を推進するため、施設整備費の補助を行った。 (18年度単独) 施設種別 授産施設 区分 創設 定員 20名 補助団体 社会福祉法人 朔風 整備区 中央区		評価(成果)	
			概ね順調に達成できたものと考え。ただし、平成18年度の身体障害者療護施設整備事業については、国が入所施設整備の国庫補助協議を原則として採択しない方針をとり、また整備希望法人もなかったことから、実施されなかった。また、平成17・18年度の知的障害者通所授産施設整備事業については、整備主体法人の予算・事業計画上の都合から、それぞれ当初計画より定員が減員となった。	
課題				
障がい者の日中活動の場を確保することを目的とし、通所施設・地域共同作業所等の利用枠の拡大を図ることが必要である。				
19年度以降の方向性・事業の予定				
18年4月より障害者自立支援法が施行されたことに伴い、同年10月から24年3月までの約5年間で、現在の事業・施設体系が再編されるが、今後とも引き続き、障がい者の地域生活移行の実現を重点課題とし、障がい福祉計画で定めるサービス提供目標値に留意しながら、日中活動の場の確保の観点から通所サービス利用枠の拡大を図っていく予定である。また、経年による老朽化施設が見込まれることから、緊急性に応じた計画的な改築整備を行う。				

